

CNALレポート・ジャパン

Conferencing industry News report, research & Analysis - CNA Report Japan

創刊：1999年12月

発行日：毎月15日・月末

取材・編集・発行：橋本啓介

テレビ会議・ウェブ会議・電話会議システム専門 定期レポート

Vol. 11 No.12 2009年6月30日号

編集:editor@cna.jp 広告:pr@cna.jp 読者登録:<http://cna.jp>

Copyright 2009 CNA Report Japan. All rights reserved.

製品・サービス動向-国内

パナソニック コミュニケーションズ、1080i、720p に対応した HD 映像コミュニケーション端末を発表



(マイクは別売)

KX-VC500 (パナソニック コミュニケーションズ資料)

パナソニック コミュニケーションズ株式会社(福岡市博多区)は、HD 映像とステレオ音声に対応した「HD 映像コミュニケーションユニット(KX-VC500)」を2009年10月1日より発売すると発表(6月5日)。

HD 映像コミュニケーションを行うためには、KX-VC500、フルハイビジョン対応テレビ、フルハイビジョン対応ビデオカメラを HDMI ケーブルでユニット本体に接続し、インターネットに接続するだけで設置が完了する。あとは短縮ボタンで接続先を選択し、開始ボタンを押せば簡単に相手先につながる。トラブル時はテレビにガイドを表示して対処方法をしらせてくれる。

KX-VC500 はパナソニックグループが薄型テレビ「VIERA」やブルーレイディスク/DVD レコーダ「DIGA」などで培ってきた H.264 や独自で開発してきたエコーキャンセラを実装している。また自動レート制御等の技術によって、低遅延や低帯域での映像の乱れや音声の音切れがほとんどなく高画質、高音質を実現していると説明する。

KX-VC500 は、NGN に対応した SIP 通信プロトコルで通信を行う。映像の解像度は、1080i (1920x1080i)、720p(1280x720p)、そして480p(704x480p)に対応し、それぞれ、2Mbps から 8Mbps、1Mbps から 4Mbps、512kbps から

2Mbps までのビットレート(帯域)でサポートする。カメラ入力に対応解像度は、1920x1080i。PC 信号入力に対応解像度は、XGA、SVGA、VGA、SXGA(2010年2月対応予定)。

一方音声は、MPEG-4 AAC LD(20kHz)に対応し、ステレオ音声は、2 拠点間で可能だが、3 拠点以上になるとモノラルになる。1チャンネルあたりのビットレートは、64kbps もしくは、96kbps。音声処理機能については、同社が開発した音源分離型エコーキャンセラを搭載。

外部インターフェイスについて。映像入力については、HDMI(カメラ)x2、RGB(PC)x1。3 入力を切り替えることが可能。映像出力については、HDMIx1、RCA(コンポーネント)x1に対応。音声入力については、専用マイク端子x1、RCA(ステレオ)x1。出力については、RCA(ステレオ)x1。テレビへの音声出力は、HDMI を使用。

音声の拡張においては、専用バウンダリーマイクロホン「KX-VCA001」を提供しており、1台あたり半径約3mの收音に対応し、4台までのカスケードが可能だ。

その他、QoS 制御や暗号通信(AES)にも対応。QoS 制御では、帯域推定(TFRC)に基づき使用できる帯域に合わせた自動レート制御のほか、前方誤り訂正(FEC)、自動再送要求(ARQ)、デコーダエラー隠蔽などの技術で遅延を削減し、パケットロスを抑えて安定した映像と音声品質を確保する工夫がされている。

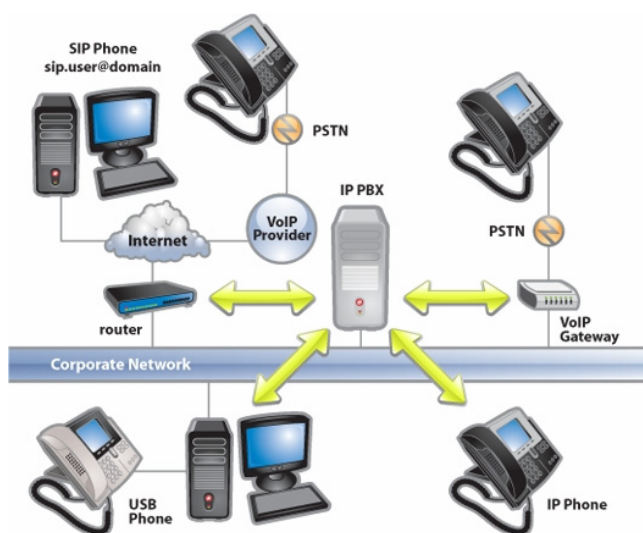
多地点接続は、メッシュ接続で最大3地点に対応。また今後最大4拠点に対応予定(2010年2月)。さらに一方向のストリーミング配信にも対応し、12 拠点への配信が可能になる予定(同じく2010年2月)。

価格は、オープンプライス。同社によると月産台数は、300台を予定している。国内においては、パナソニック システムソリューションズ ジャパン株式会社がユーザーニー

ズに合わせて最適なソリューションを提供する。

ジェイ・ティ・エス、電話会議も可能なソフトウェア型 IP-PBX を提供、小規模事業所などにも低コストで導入可能

株式会社ジェイ・ティ・エス(神奈川県横浜市)は、「3CX 電話システム」を5月24日から販売開始した。3CX 電話システムは、VoIP ゲートウェイ「SmartNode 4634」やビジネス向け IP 電話機「SIP-T20P」・「SIP-T28P」などを組み合わせ低コストでハードウェア型 PBX を置き換えることができるソフトウェア型 IP-PBX ソリューション。



3CX 電話システム (ジェイ・ティ・エス、3CX 資料)

IP 電話機や、ソフトフォン、VoIP ゲートウェイを組み合わせることで、社内 LAN、公衆インターネット、PSTN 回線 (BRI 回線、3~5 回線まで対応) を統合した低コストでメンテナンスフリーのビジネス電話環境を簡単に構築できる。「SOHO や小規模向けから利用できるソリューション。」(ジェイ・ティ・エス) 低コストながら IP-PBX としての保留転送、外線への発着制御、電話帳、通話録音、ボイスメール、Eメールによるボイスメール(あるいは FAX)受信、マイクロソフトアウトルックとの連携、CRM との連携、電話会議、通話レポート、デジタル受付など豊富な機能を提供している。

ゲートウェイや IP 電話機は同社から推奨製品を提供して

いるが、仕様 (SIP) が対応している他社製の製品でも 3CX 電話システムと連動させることが可能。設定などは、Web インターフェイスを使った簡単セットアップ機能を提供している。

IP-PBX ソフトウェアは、最小構成 (4 同時通話数) で 42,000 円からとなっている。最大 256 VoIP 通話までサポートした製品を提供している。導入前の無料トライアルも行っているという。

同社では、音声ソリューションとして、企業系や通信事業者系に向けた米 Compunetix 社製電話会議多地点接続システム「audioVIRTUOSO」なども提供している。

ジェイ・ティ・エス

<http://www.j-ts.com/>

ディアイティ、映像音声データトラフィックを抑えたサーバクライアント型 1080i 対応のテレビ会議システム発売



DayConnect PRO Touch(ディアイティ資料) 上記製品は、DayConnect PRO クライアント 3 機種うちのひとつ

株式会社ディアイティ(東京都江東区)は、H.264 ソフトウェアコーデックをベースとした独自開発のテレビ会議システム「DayConnect PRO テレビ会議システム」の販売を7月1日より開始する。(発表は、6月5日)

DayConnect PRO は、H.264 コーデックを採用。帯域に

については、SD(VGA)で最大 8Mbps 程度、1080i で最大 30Mbps 程度を必要とするが、QQVGA(160x120)からフル HD(1920x1080)までのあらゆる解像度の映像を低遅延で送受信(同社によると 100 ミリ秒以下、30 フレーム/秒を実現)することができところが特長。一方音声は、自社開発の G.711 エンコーダ/デコーダ(電話品質)を実装している。映像や音声の機能の他に資料共有やチャット、スナップショットなどの機能も提供。

DayConnect PRO では、管理サーバ「DayConnect PRO サーバ」とクライアント端末「DayConnect PRO クライアント」を提供する。コーデックから GUI(グラフィカルユーザインターフェイス)まで全てのクライアントが Windows 上のソフトウェアとして実現されている。

DayConnect のシステム的な特長としては、ユーザ情報や会議室情報をサーバ側で集中的に管理はするが、クライアント側とは映像と音声データの処理を行わないため、過度なトラフィックが発生しない点がある。

しかし、MCU(多地点接続装置)を使わずにクライアント間の多地点接続を実現し、最大 6 地点のメインビュー表示と 122 地点のサムネイル(子画面)表示が可能。メインビューとサムネイルは自由に切り替え可能。



DayConnect PRO 資料共有モード (ディアイティ資料)

管理サーバでは、SIP による接続管理の他、ユーザ情報(プロフィール、アドレス帳、会議メンバ)、会議情報の一元管理、ユーザ認証、クライアントのアップデートなどの機能に対応している。

一方クライアント端末として用途に応じて 3 機種を提供している。大規模会議に最適な「DayConnect PRO HD」(1080i HD 対応)、21 インチタッチパネル式モニター搭載の「DayConnect PRO Touch」、モバイル環境を想定したタッチパネル搭載「DayConnect PRO Portable」。

DayConnect PRO HD。モニター分離型(HDMI、DVI)、カメラ入力(HDMI、USB)、マイク内蔵スピーカ付属、ネットワーク接続は、1Gbps まで対応。

DayConnect PRO Touch は、モニター一体型(25 インチ、フル HD 対応)、タッチパネル対応。カメラ内蔵(QVGA 30fps、VGA 15fps)(オプション)、IEEE1394/USB 経由でのカメラ接続が可能、マイク内蔵スピーカ付属、ネットワーク接続は、1Gbps まで対応。無線 LAN(802.11b/g/n)をサポート。

DayConnect PRO Portable。モニター一体型(12 インチ)、タッチパネル対応。カメラ内蔵(QVGA 30fps、VGA 15fps)、USB 経由でのカメラ接続(オプション)、ネットワーク接続は、1Gbps まで対応。無線 LAN(802.11b/g/n)をサポート。

ディアイティとしては、製造業を中心とした一般企業の他、医療機関や教育機関向けへの提案や、キオスク端末や無人店舗向け端末などのソリューションにも対応していきたいと考えている。

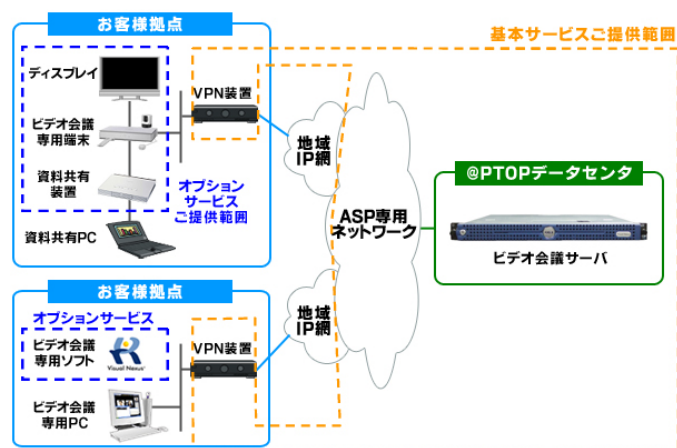
参考価格は、DayConnect PRO サーバが、748,000 円(消費税別、以下同じ)、DayConnect PRO Touch が、698,000 円。

沖電気ネットワークインテグレーション、Visual Nexus をベースにしたビデオ会議 ASP サービスの開始

沖電気ネットワークインテグレーション株式会社(東京都江東区)は、ビデオ会議 ASP サービス「ビデオ会議@PTOP(アット・ピートップ)」を 5 月 26 日より開始した。

このサービスは、沖電気工業のビデオ会議システム「Visual Nexus(ビジュアルネクサス)」の機能を、システム導入のインシヤルコストを抑え ASP サービスとして利用できる

ようにした。そのためユーザが新たにシステムを構築する必要がなく、専用の VPN 回線を利用しているため、社外への情報漏えいリスクは低く、安心して利用できると同社では説明する。



構成イメージ（沖電気ネットワークインテグレーション資料）

オプションサービスとしては、大小さまざまな会議スペースの規模にあわせたビデオ会議端末を提供している。また専用のユーザヘルプデスクサービスも用意している。

月額費用について。サービス基本料は、33,200 円/同時接続端末、ネットワーク基本料 23,300 円/拠点。

初期費用は、ネットワーク基本料として 27,600 円/拠点（拠点を接続する地域 IP 網費用は含まず）。

今後 3 年間でサービス加入数 2,500 端末を目指す。

ビデオ会議@PTOP サービスの提供は、グリーンITへの取り組みとしてOKINETが提唱する環境情報活用コンセプト「EcOnestop(エコワンストップ)」に基づいている。EcOnestopは、同社が提唱する従業員の快適なワークスタイルと環境に配慮した経営戦略を両立させる環境情報活用コンセプト。ユーザの要望に合わせて企画・設計からシステム構築、運用・保守までのワンストップでフルサポートすることを目指している。ICT 技術をベースに省エネ・省スペース、物の削減、移動の削減を柱とした商品とサービスの品揃えを行っている。

日本 IBM、導入からサポートまで提供する PC ベースのテレビ会議システム環境構築サービスを開始

日本アイ・ビー・エム株式会社(東京都港区、以下日本 IBM)は、「IBM コンバージド・コミュニケーション・サービス-ビデオ・コミュニケーションズ-デスクトップビデオ(以下、デスクトップビデオ)」を発表。同社が提唱するスマートワークの実現を支援するソリューションのひとつとして提供していく。(5月28日)

デスクトップビデオは、パソコンをベースとしたビデオ会議システム構築サービスで、複数拠点間のビデオ会議を実現する多地点接続装置、音声や動画の通信を管理するソフトウェア、3G 携帯電話と接続するためのゲートウェイ、会議のスケジュールなどを行う管理ソフトウェアなどの製品を、要件定義やシステム設計、そして機器設置から、ユーザへの操作方法の説明など、導入コンサルティングから、構築運用、そしてサポートサービスまで包括的に提供する。

またデスクトップビデオは、IBM のコラボレーション・ソフトウェア「IBM Lotus Sametime」とも連携することが可能。連携させることで、映像に加え、資料やアプリケーション画面を共有しながらの Web 会議や、複数ユーザでのグループチャットなどが可能になる。

日本 IBM では、ビデオ会議システムを活用することで、出張費や移動時間の削減の他、在宅勤務(テレワーク)、パンデミック等非常時の BCP(事業継続計画)においても、ビジネスの効率化や生産性の向上に役に立つと考える。また通常は電話だけのコールセンター業務においてそこに映像を加えることで、より質の高いコミュニケーションが実現するとも期待する。

(次ページへ続く)

ラドビジョンジャパン、日本 IBM ロータス事業部とエム・ビー・アイと協力し BCP、パンデミック対策向けソリューションを提供開始

ラドビジョンジャパン株式会社(東京都台東区)は、日本 IBM ロータス事業部と株式会社エム・ビー・アイ(東京都中央区)の協力のもと、「SCOPIA Collaboration(スコーピア コラボレーション)」の販売を開始した。(6月5日)

ラドビジョンジャパンは、SCOPIA Collaboration によって、テレビ会議専用端末と Web 会議クライアントの融合を可能にする「SCOPIA Desktop(スコーピアデスクトップ)」と、日本 IBM が提供するコラボレーションソフトウェア「Lotus Sametime(ロータスセイトムタイム)」との連携を実現する。

ラドビジョンジャパンでは、SCOPIA Collaboration を企業が活用することで、メールや携帯電話に加えテレビ会議を活用した在宅勤務や、パンデミック対策へのための事業継続計画(BCP)に効果があると考えます。

SCOPIA Collaboration は、24 ポートタイプを 680 万円から提供する。

ブイキューブ、Web 会議 ASP サービス対象の BCP 応援 Web 会議パックを発表

株式会社ブイキューブ(東京都目黒区)は、「BCP 応援 Web 会議パック」を発表した。(5月13日)

同社によると、今問題になっている新型インフルエンザのパンデミックリスク下で、ビジュアルコミュニケーションを有効活用していただくことを目的に開始した。

「nice to meet you BCP 応援 Web 会議パック」では、ミーティング、セミナー、セールス&サポート、ビデオ、CMS の各サービスについて、ASP サービスを利用申込したユーザに対して初月利用分を無料にするとともに、「BCP における nice to meet you 活用ガイド」を無料で提供する内容。

製品・サービス動向-海外

AT&T、中国でテレプレゼンスマネージドサービスを開始したことを発表、テレプレゼンス・ソリューション・ルームの 50 室への倍増も発表

AT&T は、「AT&T TelePresence Solution(AT&T テレプレゼンスソリューション)」の提供を中国で開始したことを発表した。(5月20日)

今回の中国における AT&T TelePresence Solution の提供開始は、同社が最近発表した 2009 年のグローバル・ネットワークおよびポートフォリオへの 10 億 USD の投資の一環で、テレプレゼンスサービスの提供範囲を世界 25 各国へと拡大するもの。

このテレプレゼンスソリューションは、シスコシステムズ社のテレプレゼンスシステム「Cisco TelePresence System 3200」、「Cisco TelePresence System 3000」、「Cisco TelePresence System 1300」、「Cisco TelePresence System 1000」、「Cisco TelePresence System 500」を、AT&T のバーチャルプライベートネットワーク上でマネージドサービスとして提供する。そのサービスでは、テレプレゼンスシステムの機器設置、監視と管理、リモート・ヘルプデスク・サービス、オンサイト機器の保守・修理などが含まれる。また、マルチポイント機能や企業間接続機能も提供している。

さらに H.323 に対応したビデオ会議システムを AT&T TelePresence Solution に接続できる新機能も 2009 年第二四半期末までに提供開始予定。既存の SD や IP テレビ会議システムがテレプレゼンスシステムに一端末として接続し会議を行うことが可能になる。

このテレプレゼンスソリューションの展開を強化するために、同社では、テレプレゼンス・ソリューション・ルームを全世界で 50 室へと倍増する計画もある。

(次ページへ続く)

導入・利用動向-国内**あいおい損害保険、全国 83 ヶ所にテレビ会議システム導入、6月から本格稼働**

あいおい損害保険株式会社(東京都渋谷区)は、6月8日より全国の本部・部支店ビル 83 拠点にテレビ会議システムの本格稼働を開始した。設置拠点は、本社 5 台、地域本部ビル 17 台、部支店ビル 61 台で、多地点接続は、同時に最大 40 ヶ所との接続が可能なシステム構成にした。本社や地域本部での集合会議や研修に活用する。

テレビ会議システムを導入することで、会議や研修にかかわる移動時間の削減、業務の効率化や生産性の向上、交通機関の利用削減による CO2 排出量の削減、交通費・宿泊費の削減を図る。また新型インフルエンザ対策においても出張に伴う社員感染リスクを極力排除することが可能と見ている。

あいおい損害保険株式会社

<http://www.ioi-sonpo.co.jp/>

セミナー・展示会情報**<国内>****製薬 IT ソリューションセミナー**

日時:7月1日(水)～3日(金)

会場:東京ビックサイト

主催:リードエグジビションジャパン株式会社

詳細・申込:<http://www.interphex.jp/ipj/jp/it/index.phtml>

*プリンストンテクノロジー&ポリコムジャパン、三菱電機システムサービス&日本タンバークなどテレビ会議系の出展、セミナー講演もあり。

日本初新製品発表セミナー

～高性能・高品質で低価格なビデオ会議システムを活用して短期間で実現するコスト削減効果～

日時:7月8日(水)15:30～(受付:15:15)

会場:ポリコムジャパン株式会社 セミナールーム

主催:ポリコムジャパン株式会社

詳細・申込:<http://www.polycom.co.jp/event/090708/>

<海外>**Wainhouse Research Collaboration Summit - Boston 2009**

会期:7月28日(水)～29日(木)

会場:アメリカ ボストン The Sonesta Hotel, Boston

主催:Wainhouse Research, LLC

詳細:<http://www.wainhouse.com/events.html>

NexCom Expo 2009 (Fall session) & CIPCC 2009 (China IP Communications Conference)

日時:9月23日～25日

会場:中華人民共和国 上海市

主催:全球 IP 通信連盟

詳細:<http://www.cipcc.cn/>

*ユニファイド・コミュニケーション、会議システム、ワイヤレス、IPTV 展示会&カンファレンス。

編集後記

今号もお読みいただきまして誠にありがとうございました。

先日メディアプラスにて講演させていただきましたが、この定期レポートの読者の方もご参加いただいたようでありがとうございました。

Infocomm に行ってきました。今回参加にあたり各企業様にはご協力いただきました。誠に有り難く思っております。近いうちにこの定期レポートにおいて、報告レポートを掲載できればと思っております。

今後とも宜しくお願い致します。

CNA レポート・ジャパン 代表 橋本 啓介